

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 39 2020年11月17日 JR東労組

2020政策フォーラム アピール

「緊急提言」を職場の隅々まで浸透させ、
全組合員で実践しよう！

JR東労組「2020政策フォーラム」は、新型コロナウイルス感染症の対策を行い、仙台地本の万全な準備のもとイベントホール松栄で開催した。厳しい組織現実の中、各地本における施策検証や「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」に基づいた議論を深め、今フォーラムに臨み、8機関の提言発表を受けて活発な議論をつくり出してきた。

そして、緊急提言5項にある「1項～4項を職場で実践し、黒字経営に向けた提言を職場で議論し、政策フォーラムで組織の意志に高めよう！」を成し遂げ、現在の危機感の共有と意識の転換を図り「緊急提言」に基づいた実践を通じた組織強化・拡大に向けて改めて決起することを確認した。

今フォーラムの課題は、職場を出発点とした現実把握や職場の声から課題を明らかにして、業務・政策課題を組織的に高めて、その克服に向け組合員と共に決起することの意思統一であった。

JR東日本が示す「変革のスピードアップ」などに対し、施策検証と働きがいの創出に向けた視点で提言・議論を行ってきた。職場からは「新たなジョブローテーションの実施」に対して、主体的に担う決意で真剣に向き合ってきた。しかし、一部運用・現場長の対応への怒りや不安の声が出されている。真剣に施策に向き合っている組合員に不信や不安を与えることは断じて許すことはできない。バス職場も含めて危機感を共有し、現実に対し系統・職場を越えた議論により施策課題を明らかにし、本質的課題に迫ってきた。苦しむ組合員に寄り添い、仲間のたたかひの教訓を踏まえ、職場一体となりたたかうことにより、組織への求心力を高めてきたとの教訓も出された。これがJR東労組のたたかひである！

また、テレワークなどの働き方の変化や施策・制度に対し「安全・健康・ゆとり・働きがい」を掲げ正面から向き合い、検証を強化しチェック機能を果たすだけでなく、生活環境の整備を含めた政策提言を行う必要性を一致してきた。

そして、雇用と職場を守るため「一人ひとり何ができるか」を真剣に考え、新たな業務・職場の創造や、地域との交流など様々な視点で議論が行われている。これは一人ひとりが現実を直視し、労働者としての自覚を持つことで議論がつくられている証左である。労働者は「人」である。共に困難を乗り越えていく「人」の温かさ、仲間の力が私たちには必要なのだ。雇用と職場を守るため共にたたかう仲間をつくり、明るく風通しの良い職場、人間味あふれる職場をつくり出していこう。

今こそ私たちJR東労組が、誰もが経験したことのない現実や激変する社会に切り込み、安心感や希望の持てる将来を切り拓いていこうではないか！そのために2020年度年末手当等のたたかひの教訓と、今フォーラムでの議論を職場の隅々まで展開し、「職場からの挑戦」で提言を実現していこう。そして組合員の声を大切に「抵抗とヒューマニズム」の精神で組織の足元を更に打ち固め、あらゆる妨害を跳ねのけJR東労組の組織強化・拡大に向けて決起しようではないか！

以上アピールする。

2020年11月16日
東日本旅客鉄道労働組合
2020政策フォーラム

仲間と共に！
組織強化・拡大に向
けて決起しよう！

